

成果指標				
成果指標	狂犬病予防接種率(%) = 予防接種頭数 / 蓄犬登録頭数 × 100			
指標設定の考え方	狂犬病の予防接種率を向上させることが狂犬病の発生を予防し、まん延を防止し、狂犬病を撲滅することにつながるかと考え、愛媛県の平均値を目標値とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	0.594	0.62	0	0
実績	0.619	0.6	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	集団接種日程については、昨年度と比較し、1日減少した。今後は、単に減らすだけでなく、地域の需要を勘案しながら、効率化を図っていききたい。また、最近は飼養犬の小型化が進み、戸外に出ない等の理由により接種をしないケースも出ているので、広報等により接種を積極的に呼びかける等の工夫が必要になると思われる。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	日本においては、狂犬病の発生が国内において60年来確認されていない。予防接種を受けずに狂犬病を発症した場合の致死率は99.99%と言われ、いまだに確立された治療法がないことから、感染の予防がもっとも有効な対策である。そのため予防注射の摂取率の向上に努める必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題